

# J 城南島タイムズ



3/10 平成30(2018)年 3月10日<第47号> 発行：城南島連合会 制作：新聞委員会

〒143-0002 東京都大田区城南島2-2-8  
電話 03-5755-9390 URL www.jounanjima.com  
印刷：光写真印刷株式会社

## 平成30(2018)年 新年賀詞交歓会開催

恒例の新年賀詞交歓会は、1月18日木曜日、大森東急REIホテルで開催された。杉崎武春城南島連合会会長は、「今は150年に1度の大変革の時。経営は時代の変化に合わせて、製品・技術・サービスを変えていかなければならない」と述べ、続いて平将明衆議院議員をはじめ来賓各位の挨拶があり、今西隆夫商工中金大森支店支店長の音頭で乾杯して和やかに懇親会が始まった。



池井戸潤さんの小説をテレビドラマ化した『陸王』を私は大変面白く見たのですが、本日お集まりの皆さんにもご覧になった方が多いのではないかと思います。主人公は役所広司さんの扮する、埼玉県行田市の足袋屋「こはぜ屋」の社長。時代の流れによって足袋の売上が毎年減少し続け、このままでは倒産するという経営危機に見舞われるのですが、社長が「陸王」というマラソンシューズを開発して危機を脱するという物語です。つまり、「足袋屋」が「履物屋」になることによって倒産の危機を脱し生き延びたということですね。

ここで思い出すのが、たぶん私の同年代以上の人なら覚えておられると思いますが、私が小学生のころ夏には「氷屋」さんをよく目にしたものです。冬は「炭屋」さん、それ以外の春秋は「煙突掃除屋」さんでした。煙突掃除なんて言っても、若い人にはピンとこないかもしれませんが、当時は薪でお風呂を沸かしていました。私の家では小学生の私が風呂を沸かす番でした。新聞紙を燃やして薪に火をつけてお風呂を沸かすのですが、その煙突に煤がたまりますから掃除をしなくちゃならない。その煙突掃除を仕事にしている人がいたわけです。しかし、「氷屋」は冷蔵庫に取って代われ、「炭屋」は灯油のストーブ、電気こたつ、「煙突掃除屋」はガス風呂の登場で需要がなくなり、商売が成り立たなくなつて姿を消してしまいました。今から60年前ぐらいのことですが、本当にあつたという間のことでした。

### 時代の変化に合わせた経営が求められている

城南島連合会会長 杉崎武春

そして今はどうかと言いますと、2020年には自動運転車、日産、ホンダから発売され、2040年にはガソリン自動車とかディーゼル車はすでに駆逐されて、ほとんどの車が電気自動車(EV)、そして燃料電池自動車(FCEV)に取って代わられる、そういうことが起こる時代に直面しているのです。ちょうど1800年代の後半、馬車がカール・ベンツとゴットリーブ・ダイムラーによって作られた自動車に一気に取って代わられてしまいましたが、今はそれと同じような、いやそれ以上の、150年に一度の大変革が、AIと相俟って起ころうとしている、これが現状です。

では、中小企業はどうしたらいいのでしょうか。経営にコツというものはありません。あるのは原理原則です。その原則とは「経営とは時代の変化に合わせて、製品・技術・サービスの顧客を創造していく」ことです。中小企業としてのビジネスモデルを組み上げなくてはならない、ということになります。それはどういうことかという点、新たな販売方法や、市場開拓によって現在ある製品・技術・サービスの顧客を創造すること、これが今われわれ中小企業がやっていかなくちゃいけないことなんだと思います。経営とは環境適応業である、といわれるように、時代の変化に適応したものだけが生き残れるわけです。ダイウインが進化論で「強いもの、大きいものが残れる」のではなく、環境に適応したものだけが生き残れる」と言っています。これは歴史が証明しているわけですが、この150年に一度の環境変化、これにわれわれ中小企業は、先ほど挙げました、氷屋、炭屋、煙突掃除屋と同じ運命になることなく、しっかりと環境に適応していかなくてははいけないと思っております。



## イベント あらかると 第10回 城南島羽田マラソン開催



飛行機が一番接近するマラソンで知られる城南島羽田マラソン(第10回記念大会)が2018年1月21日、城南島海浜公園と周辺で開催されました。種目は2km前後のファミリーランから、5km、10km、ハーフの個人とベテラン、本格的なフルマラソンまでと多彩。今回は総勢700人が参加。当日は天気も良く、城南島連合会の会員も参加して参加者全員、健康的な一日を過ごしました。



主催はNPO法人日本アウトフィットネス協会。東京都、大田区、大田観光協会が後援し、城南島連合会のほか天然温泉平和島、セントラルスポーツグループなどが協力しています。

なお、次回11回大会は、2018年6月10日(日)に開催され、まもなく参加者の募集が開始されます。詳しくはアースランクラブのホームページ <https://earthrunclub.net/> をご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

### 編・集・後・記

\*冬季オリンピックでは奪取メダル数を更新。また、ビッケレコードで金メダルを取ったのは感動しました。と、ころで、下町ボブスレーはオリンピック滑走の夢は今も叶わず、残念でなりません。今後のどのように進めていくのかは分りませんが、日本(大田区)の物づくり、そして技術ここにありと世界に改めて発信していただきたいと思います。(中澤勇一郎)  
\*新聞委員に任命されて初めての取材に参加しました。株式会

社イーエム・アイの石井社長は、「車両を活用したビジネス」という点では当社と同じですが、「こういったサービスがあれば、世の中がもっとよくなるなあ」といった消費者目線の思いを、迷うことなく真っ直ぐに事業化されています。直接お話を聞くことが出来たいへん勉強になりました。(大久保茂忠)  
\*訂正：連載「城南島の企業」の掲載回数が、前号で「5」とあるのは「6」間違いです(今号は7)。お詫びして訂正いたします。



# 平成30年城南島連合会 新春賀詞交歓会 懇親会ドキュメント

## 成長戦略担当として、中小企業のさまざまな課題に積極的に取り組んでいく

衆議院議員 平 将明

昨年は急な選挙になりましたが、城南島連合会の皆さまのお力をいただきました。5期目の当選を果たすことができました。ありがとうございます。

今はイノベーションが大事な時です。私は引き続き自民党で成長戦略を作っております。まさにそこを担当しているわけです。

先ほど杉崎会長から時代の流れに合わなくなった職業はなくならないという話がありましたけれど、実はいわゆるサムライ(士)業もこれから大変だと思えます。社労士、行政書士、弁護士、公認会計士ですね。フィンテック(FinTech = Finance + Technology)が入って来ますし、ブロックチェーン(Blockchain = 分散型ネットワーク)を



5年間8割の雇用を維持していただくという雇用要件というのがあります。今回はこれを外しました。たとえば、お父さんが継いだ時は絶対好調で株価がこのぐらいでした、

懇親会にご出席いただいた来賓各位のうち、5人の方のスピーチと、須長将明・当会副会長の中締め挨拶を採録し、恒例の「すみれカルテット」によるライブコンサートの紹介を、会場風景と合わせて掲載します。

使いますと法務局の必要性も減ってきます。そういった中で、イノベーションは国家戦略特区とか、SIP(戦略的イノベーション創造プログラム = Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program)とかいろいろやっております。

総裁から今回特に言われたのは、中小企業の課題でありまして、すでにご承知のことと思いますが事業承継、設備投資、それから内部留保と消費です。内部留保についてはこれに課税するべきだという党もありましたが、われわれはいたしません。事業承継税制については、今までは株式の3分の2の8割減免でしたが、これを10割の10割にしました(4月1日



## 中小企業の皆さまとともにモノ作りの振興をしていく

子どもが継いで世の中がちょっと変わって業績不振になり、全体的なバリュエーション(企業価値)はこのぐらいになりました。ここでギブアップして廃業したり売却をした時には、引き継いだ時の株価が課税の対象になってしまったが、今回は現在価格を対象にすることにしました。また、兄弟で継がせるといった時には複数引き継げることにしました。ただし、ちょっと要件が入っておりますので、詳しくはお近くの税理士さんにご相談ください。固定資産税については設備投資を増やさなければいけないのだから、固定資

今年年初から株式市場が好況で好景気ではないかといわれております。先日の新聞には工作機械受注の額もかなりいいということが書かれていました。そうした好況の中でも特にいい分野という

産税は何とかならないかという話が総裁からありました。皆さんの場合はモノ作り企業ですから設備がかかります。固定資産税は地方税ですから、地方交付税の入っている自治体はやはりよくあります。たとえば、自治体がやるのであれば固定資産税分を地方交付税で7割ぐらいカバーし、さらに物作り補助金などで応援するというスキームができるのです。しかし、東京都は不交付団体であり、大田区は東京都が上にあるものですから、新たなスキームを作らなければいけないのです。大変申し訳ないのですが、今の段階ではこれは宿題として残っております。

引き続き鋭意努力をいたしますが、ご意見ご要望などございましたらご遠慮なくお申し付けください。本年もどうぞよろしく申し上げます。

大田区長代理  
大田区産業経済部工業振興担当課長  
宮本知明

のがありまして、工作機械受注で言いますと半導体分野が非常に好調だということでした。世の中は杉崎会長、平先生のお話にもありましたように大きく変わってきていると思います。大田区としてもこの変化が非常に激しい中で、中小企業の皆さまとともにモノ作りの振興をしていくと考えているところでございます。

昨年は羽田空港の第一ゾーンにおきまして、新産業創造の発信拠点ということ鹿島建設を中心とするコンソーシアム

そういった動きを大田工業連合会としては、さまざまな形で情報提供していきたいと思っております。また、当会の青年部には製品開発を進めているプロジェクトや、これから仕掛けていくというプロジェクトがいくつもあります。ぜひ、皆さまのご協力ご支援をいただき、そして一緒に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

を整備していくことが決まりました。また、さらに基盤整備の区画整理事業なども着手されたところでございます。そして、この変化の激しい中で先端産業をより推進していくということで、産業交流施設の自身の検討の具体化を強く進めていきたいと考えているところでございます。皆さまからのご指導、アドバイスを頂戴しながら今年も進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

工業団地の建替えなど課題も山積しております。皆さまにご指導をいただきながら、「まちに森、人に愛」の精神でしっかりと活動してまいりたいと思っております。これからのモノづくりが大切

大田工業連合会事務局長 浅野和人

これまで3期、区議会議員として地域の課題に取り組んでまいりました。昨年は都議会議員選挙で当選を果たさせていただきました。ありがとうございます。

大田区はモノ作りの中心です。日頃から杉崎会長を先頭に城南島連合会の皆さまも熱心に取り組んでおられますが、私も東京都の公営企業委員会、また港湾審議会の委員として、東京の臨海部の活性化のために、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思っております。城南島へのアクセスの強化などの交通政策、



先日、大田区内の企業の社長さん数名と、ある経営コンサルタンの方と私が情報交換をする機会がありました。その時、コンサルタンの方がこんな質問をされました。「皆さん、半導体チップの今年の出荷数はどのぐらいになると思いますか?」。答えは1兆個。これはちょっと想像がつかない大きな数字ですが、日本の人口が約1億3千万人ですから、計算しやすく1億人としますと、1人あたり1万個ということになります。片手に5千個ずつ、それでもなかなかイメージが浮かばないですね(笑)。世界の人口は約70億、そうすると1人あたり140個ほどになります。BtoBの仕様が圧倒的に多いと考えれば、まあその数字もあながち達成不可能ではありませ

- 情報交換会でのコンサルタンの先生の発言に、ある大田区の町工場の社長さんは「半導体は我々には関係がない分野なので、現段階では影響はないです」と言われました。私の考えは少し違っています、いかにして伸びていく産業に喰らいついていくか、と考えるてはいけないと思うのです。たとえば、城南島連合会であれば129社の会員企業がありますし、大田工業連合会は829社、これをどんどん広げていけば多くの仲間がおりますし、大田区には松原区長はじめモノ作りに理解のある先生達がいらっしゃいますし、平先生のように国の戦略まで考えていただける方もいらっしゃいます。大田区が一丸となつていかに伸びて
- 【来賓】  
平 将明…衆議院議員  
宮本知明…大田区産業経済部工業振興担当課長  
もり 愛…東京都議会議員  
鈴木章浩…東京都議会議員  
鈴木晶雅…東京都議会議員  
伊藤和弘…大田区議会議員  
松原 元…大田区議会議員  
大橋武司…大田区議会議員  
黒沼良光…大田区議会議員  
今西隆夫…商工組合中央金庫大森支店支店長  
谷中正英…商工組合中央金庫京浜島出張所所長  
斎藤 慎…日本政策金融公庫大森支店総括課長  
渡辺康太…さわやか信用金庫京浜島支店支店長  
深澤 亮…さわやか信用金庫京浜島支店 営業第二課推進役  
浅野和人…大田工業連合会事務局長





### 乾杯音頭

商工中金大森支店支店長 今西隆夫

僭越ではございますがご指名をいただきまして、乾杯の音頭を取らせていただきます。

昨年この時期と比べますと、需要はしっかり伸びてきていると感じております。年始からいろいろな分野の経営者の方とお話しますと、ほとんどの方が「景気は悪くはない」「受注は非常に伸びている」と言われております。ただ、杉崎会長が話されましたように、AIとか自動ロボットとか非常に大きな変革が起き始めていますし、その勢いは今後も続いていくと思います。これらは人口減少のなかで景気を浮揚していますし、皆さんが経営努力の中で持続していくものだと感じております。しかし、そのスピードがものすごく速いので、皆さんがどうついていけるのか、また、どういう部門をやっていくかという課題もあるのではないかと思います。一方で人件費をはじめいろいろなコストが上がってきているなかで、どこで販売単価を上げていけばいいのかというのが、今年は大きな悩みになるのではないかと感じております。

われわれ金融機関としてはしっかりと皆さまの経営を支援してまいります。では、今年が飛躍の年になりますように祈念し、乾杯！



### 中締め

城南島連合会副会長

須長将明



城南島2丁目で空調ダクトの製作施工をしております須長と申します。中締めは本来であれば井上副会長が半分酔っ払って(笑)、愉快的中締めをされるはずなのですが、今日は「楽しい海外出張から戻ってこれないので、人生勉強だと思って須長やれ」ということですので、大先輩の前で大変緊張しておりますが、私が中締めをさせていただきます。私は昭和45年生まれで、大学を卒業して社会に出たのが平成5年ですので、そのころにはもうバブル経済が終わってしまいました。今日の会場にはバブル時代に美味しい思い出をされたであろう方がたくさんいらっしゃると思いますが、私の年代は社会に出た時から景気が悪いという気の毒な世代であります(笑)。先ほど杉崎会長、ご来賓の方々からようやく景気回復の気配が出てきたということ、やっと社会人になって少しは僕らの世代もいい思いができるのかな、と楽しみにしております。

それでは、城南島連合会ならびに会員企業のますますの発展と、今日ご参加いただいた皆さまの幸せを祈念いたしまして、一本でも三本でもなくて、二本で締めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。では、「幸せな手を叩こう！」 シャン、シャン!!



1	水野まな	クラリネット
2	林愛実	フルート
3	村田美貴	ピアノ

## 新年ライブ・コンサート

新春コンサートはお馴染みの「すみれカルテット」。3年連続の出演。今年の編成は、フルート(林愛実)、

クラリネット(水野まな)、ピアノ(村田美貴)のトリオ編成。  
『ダンシングクイーン』『ローズ』『ポラーレ』『コーヒールンバ』『マイウエイ』『見上げてごらん夜の星を』『なごり雪』『パッヘルベルのカノン』『エトピリカ』『情熱大陸』の10曲。ポップスから歌謡曲、クラシックまで多彩な作品を見事なアンサンブルで聞かせてくれた。盛大な拍手に込めて、アンコールに2曲目の『ローズ』を情感豊かに演奏して締め括った。



村田美貴(ピアノ) 洗足学園音楽大学卒業。同音楽大学院音楽研究科修了。ウィーンで研修を積み現地の演奏会に出演。ホテルや施設、企業向けパーティー演奏、コンサート等幅広く演奏活動を行っている。



林愛実(フルート) 国立音楽大学卒業。洗足学園音楽大学院音楽器科首席卒業。ウィーン国立音楽大学のディプロマを取得。テレビ出演、レコーディング、アウトリッチなど幅広い活動を行っている。



水野まな(クラリネット) 洗足学園音楽大学卒業。平成16年度土岐市教育文化賞音楽賞受賞。依頼演奏、学校の訪問演奏、各地方施設の依頼演奏の他、クラリネットの講師として後進の育成にも力を入れている。



# flashback 城南島連合会

城南島は海に囲まれ、城南大橋と城南野鳥橋の2つの橋で大田区東海と、そして臨海トンネルで中央防波堤外側埋立地と繋がっています。孤島のような場所ですので、今までは交通の便も悪く、また島内にコンテナヤードがあるので、待機車輛での渋滞が日常茶飯事でした。以前は通勤が非常に不便でしたし、島外の営業活動に出るにも難儀をしました。しかし、これまで当連合会が行政にさまざまな働きかけをして、しだいに渋滞も緩和され、いろいろな施設も増え、働きやすい島となってきています。本紙はこれまでの連合会の活動を振り返り、今後の城南島と連合会の発展の参考にしたいと考えました。まず今号では、平成24(2012)年2月13日発行の「城南島タイムズ」第35号の記事「城南島連合会が行政に働きかけ実現したこと」を要約再掲載いたします。

## 1 大田市場の道路拡幅

大田市場前の道路は従来3車線で、うち左折ラインは1車線。国道357号への左折は渋滞が激しかったのですが、当連合会が東京港湾局と折衝を重ね、左折ラインをもう1車線拡幅して現在の状態になっています。

## 2 駐車場料金の改定交渉

城南島2丁目に140台、同4丁目に45台の計185台の駐車場を東京都から管理委託を受け、島内企業が利用。平成18年に入り賃借者の負担軽減を目指して、当連合会が東京都と交渉して18%の駐車場賃料の値下げを実施いたしました。

## 3 コンビニ誘致

城南島は工業専用地域のため、小売店舗の新設には制限を受け誘致が困難な状態が続いていましたが、東京都、大田区と従来から折衝を重ね、平成21年11月、念願のコンビニをオープンすることができました。

## 4 ガソリンスタンドの新設

ガソリンスタンドの新設を東京都港湾局に要望してきましたが、トレーラー専用スタンドに加え、

乗用車の給油可能なスタンドを平成21年8月にオープンすることが出来ました。

## 5 島内分離帯の整備

島内中央分離帯は雑草が伸び、ゴミのポイ捨て原因になっていましたが、平成17年10月から11月にかけて、中央分離帯を改造(レンガ使用)し環境整備を行いました。

## 6 島内清掃(ゴミ無料回収)

平成16年6月、大田区・水上警察の協力のもとに、島内一斉清掃を実施。その後毎月実施し、島内清掃は定着しました。現在、月2回第2・第4日曜日に清掃を実施し、大田区が無料回収に協力してくれています。

## 7 交通渋滞解消

バンプール(コンテナヤード)に入るトレーラーが野鳥橋に縦列。3車線のうち1車線が縦列駐車で使用できない状態が続いていました。バンプールを管轄する協同組合と検討し、平成22年8月バンプール内に待機レーンを増設し、縦列問題は大きく解消しました。

## 8 交差点の名称について

東京都港湾局と交渉し、城南島近隣の交差点に名称を付与しました(平成22年2月終了)。

- ・環状7号から城南野鳥橋への右折交差点
- ↓ 野鳥公園東
- ・城南野鳥橋から城南島に入って2つ目の交差点
- ↓ 城南島埠頭公園前
- ・大田市場から国道357号への交差点
- ↓ 京浜大橋北



## 株式会社イーエム・アイ城南島事業所 連載・城南島の企業 ⑦

### 所沢市に拠点を置く株式会社イーエム・アイは多彩な運送関連事業で注目を集めている。平成21年11月開設した城南島営業所は昨年4月現在地に移転。今後の展開が期待される。



今回登場する城南島の企業は一般貨物運送をメインに産業廃棄物運搬から民間救急、福祉タクシーまで幅広い運送関連事業をカバーしている(株)イーエム・アイ。城南島営業所は城南島に物流センターを置く中沢乳業(株)の製品運送が縁で開設された。多彩な事業と城南島での活動について石井社長と早坂専務のお二人に伺った。



株式会社イーエム・アイの石井恵美子代表取締役(左)と、早坂幸泰専務取締役

民間救急の第一号車、現役で活躍中



早坂・トラックが55台、旅客部門が11台です。石井・トラックをやっているうちに、私の父が寝たきりになりまして、その時の病院の転院、退院に

の最初の3文字で「イーエム・アイです」。中澤・なるほど、いいネーミングですね。大久保・創業は平成2年だそうですが、女性で運送業というのはその頃はまだまだ珍しかったのではないですか？ 石井・最初は広告代理店としてスタートしたんです。その当時クライアントだった旭化成さんがスーパーで冷凍食品の試食会をされていて、そこで使用する容器などの機器を当社が預かり、それを会場に運ぶ仕事をいただいたのが運送業を手掛けるきっかけになりました。一般貨物自動車運送事業の認可をとったのは平成8年です。ほどなく中沢乳業さんの所沢営業所からお仕事をいただきました。早坂・その後、荷主である中沢乳業さんが城南島に配送センターを作られましたので、弊社も平成21年11月に城南島に営業所を置くことになりました。大久保・運送業がメイン事業になったわけですね。車輛の保有台数は現在何台くらいですか？ 早坂・トラックが55台、旅客部門が11台です。石井・トラックをやっているうちに、私の父が寝たきりになりまして、その時の病院の転院、退院に



中沢乳業に隣接する城南島営業所。専用運搬車は12台。所在地：東京都大田区城南島4-9-2

対応できる車が少なく苦労したのですが、この分野は先々きと需要があるだろうと思っています。福祉車輛から始めて、現在は民間救急もやっております。大久保・救急、福祉の分野は業務内容が違うので、軌道に乗せるにはご苦労されたのではないですか？ 石井・ええ、福祉車両や、福祉タクシーをやっています、という程度なら、ただ運ぶだけですが、当社は救命救急士がおりますので、呼吸器を付けた人でそのまま乗せられますし、痰の吸引もできるというように、付加価値を高めています。中澤・遠距離もされているんですか？ 石井・はい。新幹線にも対応しています。新幹線には患者に対応した車輛がありまして、寝台車で送って欲しい、という需要があります。それにお応えしています。全国の業者さんと連携して、到着先での輸送も安全確実に行っております。大久保・手掛けると決めた以上は、かならず他社と差別化できる強みをもつというところで、実に積極的な経営姿勢ですね。石井・経営はやはり世の中のニーズに合わせなければいけないと思っています。今、保護者が見つなくて、お子さんだけに乗せて運ぶ「子育てタクシー」というのもやっておりますが、これは孫を育てる過程で体験したことから始めました。大久保・ニーズのあるところにビジネスあり、ということですね。早坂さん、社

## 9 防災放送設備増設

防災放送設備は従来2基設置されましたが、聞こえない地域があり、増設を大田区に要望し、平成23年2月に2基の増設を行うことができました。これによって同年3月11日の東日本大震災時は島内企業への情報伝達が円滑に行うことができました。

## 10 公共バス

数年に1度のダイヤ改正時、バス事業者と打ち合わせを行い、ダイヤ改正の参考資料として、会員企業の情報を伝達しました。また、東京ゲートブリッジ開通に伴うバス路線新設をバス事業者に要請し、新木場方面居住者の新規採用・従業員のアナウンス・島内企業の発展に大きく貢献するための働きかけを致しました。(2018年現在、バス事業者の運営上の問題により、新木場方面とのバス運行は実現していません)

## 11 南部スラッジプラント施設見学会開催

平成23年7月8日、南部スラッジプラント施設を見学。汚泥処理に係る放射能問題について説明を受けました。13社14名が参加し、施設内7カ所で放射能測定を実施。いずれも0.07〜0.09マイクロシーベルトの結果に参加者全員が安心して終了することができました。また同月28日には、汚泥焼却設備解体工事説明会を実施。14社14名が参加し、焼却炉解体にともなう、ダイオキシン・アスベスト飛散について説明を受けました。労働基準監督署の規定を守り、飛散対策を実施。参加者全員納得して終了することができました。

長は大変なアイデアマンですね。早坂・普通の人が思いつかないところを見つけてビジネスにしていけるので、すごいなと思います。私は専務で会社のいろいろな分野を見なければいけないのですが、現在は城南島営業所で中沢乳業さんの物流を専門に担当しています。大久保・運送業としては中沢乳業さん以外ではどんな分野を担当されていますか？ 石井・例えば、車のワイパーの金属部分を埼玉県の川口から福島県の二本松まで毎日16パレットほど運び、出来上がった製品をまた持ち帰ってきています。他には輸出製品のシール・ラベルのロールを4トン車で成田、横浜まで運んでいます。これを運ぶには一年中23度Cの最適温度に保ち湿度も管理出来る特別空調車を作りました。さらに、特殊機械を運ぶエアサス車が6台ありまして、精密機械を全国に運んでいます。中澤・大久保・実に多彩な業容展開で感心しました。今後ますますのご発展をお祈りします。今日はお忙しいところ、大変ありがとうございました。